

第2回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 会議録

1 開催日時 令和6年10月28日(月) 午後1時30分から午後3時まで

2 場 所 松本市役所本庁舎大会議室

3 出席委員 会 長 新井 喜代加 氏
副会長 横内 俊哉 氏
委 員 宮下 昌史 氏
委 員 常田 光弘 氏
委 員 青山 織人 氏
委 員 藤野 一男 氏

(オブザーバー) 荒井 英治郎 松本市教育顧問
(株式会社 松本山雅 代理出席) 神田 文之 取締役

4 事務局 伊佐治教育長、赤羽次長、坂口教育監、逸見住民自治局長、小口文化観光部長、大島スポーツ本部長、山本スポーツ事業推進課長、清澤文化振興課長、小西教育政策課長、清沢学校教育課長、西澤学校教育課施設担当課長、廣田生涯学習課長、横山学校教育課施設担当課長補佐、幅部活動地域移行統括コーディネーター、高山学校支援室指導主事、齋藤スポーツ事業推進課係長、上嶋生涯学習課係長、中島スポーツ事業推進課主事、脇谷文化振興課主事、篠田学校教育課主事、浅井生涯学習課主事、降旗教育政策課長補佐、竹内教育政策課主査、千賀教育政策課主査、

<会議事項>

(1) 地域移行マネジメント支援の業務報告について
スポーツデータバンク(株)長瀬氏が説明。

(委 員) まつチャレの届け出が現時点で12件という実績は幸先良いと思うが、目標の60団体は今年度の目標値か？最終的な団体数の必要数を教えてほしい。

(千賀主査) 60団体は今年度の目標値。来年度は100団体。再来年度は140団体を目指している。

(委 員) 小学校の保護者に話を聞いたところ、HOME&SCHOOLで配信したまつチャレ通信を見ている人は半数くらいだった。保護者と生徒は小学校での説明や、中学1,2年生への説明会を聞いたことで、やっと自分事を感じて考え始めているため、サポートデスクの必要性が出てくるのはこれからだと思う。

- (委 員) 学校に地域クラブが出来れば、子どもが自力で参加できる。そういったクラブが増えてほしいが、こういった内容の相談もサポートデスクは受け付けているか？サポートデスクの業務範囲を教えてください。
- (千賀主査) サポートデスクの業務として、地域クラブになるにはどのような手続きが必要かをサポートするが、運営主体が決まっていなくて受け付けられないため、まずは運営主体を決めていただき、お問い合わせいただきたいと考えている。

(2) 令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係る課題への対応状況
降籬教育政策課長補佐が説明。

- (委 員) 課題N o 1 5 第3者機関について適正でないことが起きてから対応するのではなく、起こらないように対策・対応してほしい。
- 課題N o 2 対応完了となっているが、まつチャレ通信創刊号に今後のスケジュールを載せていて、小学校4年生は中学校入学時には部活動が無くなると明記しているので、それを前提に進めてほしい。
- 課題N o 6 プロジェクトチーム会議は現在も動いているのか？
- (山本課長) 年4回開催している。種目ごと関係する方に2名ずつ参加していただいている。
- (委 員) 課題N o 8 中学生の受け入れが可能な団体として、団体カタログを作成することは非常に良い取り組みだと思う。一覧表だと中々イメージが湧かないところもある。誤解やトラブルが起こらないように、会費についても統一された書き方で掲載することが大事だと思う。
- (委 員) 団体カタログについて、更新については誰が行うのか？
- (降籬補佐) 一覧については2種類を考えている。サポートデスクで扱うのはまつチャレのみとし、スポーツデータバンク㈱が管理する。団体カタログについてはまつチャレ以外でも広く募集し、松本市が管理していく予定。
- (委 員) 質問があった際、まずはサポートデスクと一覧表を紹介することで良いか？
- (降籬補佐) お見込みのとおり。
- (伊佐治教育長) 教育委員会では令和8年度までは地域移行コーディネーターも設置しているため、教育委員会へお問い合わせいただければ、適正な部署に繋ぎ、答えられることは回答する。令和8年度以降は未定だが、情報発信はいずれかの部署ができる限りわかりやすく発信していく。課題N o 9 指導者の質について、研修で全てを防ぐことはできないが、指導者向けの研修を進めることが第一歩だと思う。管理責任については、地域クラブの管理責任において対応していただくことが大事だと思う。まつチャレの届け出をしていただくときに管理体制の整備も求めていく。
- (委 員) 6年生の保護者の中に、今までは学校だから安心して預けられた。まつチャレ団体はどの程度の指導が入るか気になっている。市のスポーツ指針や松本市の子ども権利条例を理解したうえで、お墨付きがあることを示せれ

ば、安心できると思う。

(委 員) 現状地域クラブは何団体存在して、どこを見れば内容が分かるか示してほしい。

(降籜補佐) 現在、まつチャレの申請をいただいている団体は12件だが、規約や申請書類を調整中。12月中下旬には一覧をお示しできるよう、リストを作成している。

(委 員) まつチャレか、そうでないかを見る側はどう判断すればよいか？

(降籜補佐) 認識できるようにロゴマークを付けるなど、工夫する。

(3) まつチャレロゴマーク募集結果について

小西教育政策課長が説明。

(委 員) 選考要領を見たが、募集期間が延びたのはなぜか？一次審査で審査された3点から決めると聞いていたが、5点になった経過は？

(小西課長) 当初予定されていた期間では応募が少なかったため、延長した。また、延長した結果、予定より応募数も増え、力作が多かったため一次審査の絞り込みは5点に増やした。

(委 員) カラーで作られた作品が多いが、実際に使われるときはモノクロで作る場合もあるので、カラー、モノクロ両方のバージョンで作った方が良いと思う。

(委 員) 協議会委員の採点により上位5点から1点に絞るよりも、保護者の皆さんに採点してもらうなど広く採点できる機会を設けてはどうか？

(小西課長) 今回は要領の通り、協議会委員で選考し、1点に絞りたい。

(4) 運動系部活動の各競技団体の現状及び取り組み状況について

齋藤スポーツ事業推進課係長が説明。

(委 員) 昨年度モデルケースを設けて進めてきたが、現状、指導者がいないことでクラブが立ち上がらないことが多い。今後もモデルケースを拡充して進めていくのか？

(千賀主査) 新たにモデルケースを選定することは考えていない。まつチャレとして、地域クラブが増えていくことを支援していく。指導者については人材バンク機能を設けているので、こちらを参考にしてほしい。

(委 員) サポートデスクの人材バンクと競技団体の指導者の繋がりはどうなっているか？

(千賀主査) 競技団体の指導者は既に自分の団体で指導しているので、新たに違う場所で指導することは難しいと想定している。ただし、競技団体にも登録は促すので、今後増えていくことも考えられる。

(委 員) 人材バンクの一覧表は学校や校長会で見られるのか？

(千賀主査) 個人情報なので、ホームページ上などで一般公開は出来ないが、相談の段階であれば個別に教えることも可能。

- (委 員) 現在は人材バンクの登録は何人か？
(長瀬氏) 現状3名
(委 員) 人材バンクの登録人数が現状3人との話があったが、指導者が足りなくなることが想定できる。ぜひとも指導者を増やす動き、何か策を考えてほしい。

(5) 文化系部活動の地域移行の状況について
清澤文化振興課長が説明。

- (委 員) 楽器のことを考えたときに、学校ですることがベストであることは理解できるが、教員が兼職兼業をしたときはその謝礼の支払いをどうしていくか？資料では保護者会が主体となって活動を行い、参加費から手当を出すと考えてよいのか？
(清澤課長) まだそこまで進んではいない。現時点では中間組織を設け、調整機能を持てればよいと考えているが、未定。
(委 員) 長野工業高校との取組みはとても良いと思う。しかし、これを担える先生はかなり特殊で、その先生が異動した場合は活動の場自体が無くなると考えておいた方がよい。種目によって課題は違うので、意識して進めてほしい。
(委 員) 吹奏楽や合唱について、現在は様々な大会があるが、コンクールを目指していない団体の活動で子どもたちのモチベーションを保てるか心配。その点について対策を考えているか？
(幅C o) どんな活動を選ぶかは個人の自由で、コンクール志向か、楽しみたいか選択してもらいたいと考えている。
(委 員) 送迎対策も具体的な対策案を考えてほしい。
(委 員) 吹奏楽部500名はかなりの数だと思う。音楽における吹奏楽のウエイトは高く、色々な歴史的経過もある。これを支えているのは、ほとんどが学校の先生による指導で、今の水準を維持することはかなり難しいと思う。結局は学校の音楽室以外には活動の場所はないと感じている。学校教育課施設担当が尽力してほしい。
(委 員) 演劇部や美術部の受け入れ先として、芸術館美術館をどのように有効に使えるかが重要であり、受け入れる窓口を文化芸術財団が作り、地域とともに子どもたちを支えていきたいと思っている。
(委 員) 中学校や高校、社会人でも吹奏楽をやっていた人は自分の母校を手伝いたいという人も多いと思う。
(委 員) 保護者会が主体となって運営していくことは簡単なのか？
(幅C o) 運動系は地域で担ってくれる方はいるが、吹奏楽合唱は難しい現状。
(委 員) コンクールを目指すのではなく、音楽を広めていくといった意味合いであれば指導できる人はたくさんいるはず。外部指導者のように学校で地域クラブを進めてほしい。
(荒井オブザーバー)

ロゴマークについて、応募してくれた児童生徒に参加賞を検討してほしい。

(荒井オブザーバー)

運動系部活動について指導者がいない、受け皿がないと色々あると思うが、今の部活動をそのまま再現することがゴールではない。教員が背負ってきてしまったことを、私たちでも引き受けていく観点も大事。先生方のウェルビーイングを制約することないように進めていってほしい。

(荒井オブザーバー)

文化系部活動についてセキュリティについてはスマートロックを使うなど、様々な方法があるので、検討してほしい。

(閉 会)